

前提条件

第1章 計画の目的と位置づけ

4. 札幌の価値を高めるみどりの意義(P7)

- 1. 計画策定の目的(P6)
- 2. 位置づけ(P6)
- 3. みどりづくりの経緯と評価(P6)

自然・環境	都市・まち	ひと
①環境の保全	②都市環境の形成 ③防災機能の発揮 ④観光まちづくり・地域経済への寄与	⑤様々な世代が利用できる場の提供 ⑥コミュニティの形成

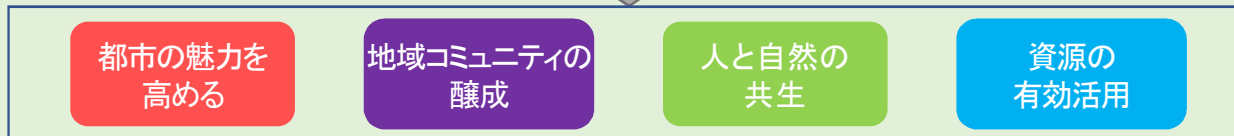
みどりが本来持つ普遍的な意義  
みどりの意義が効果を発揮する「自然・環境」「都市・まち」「ひと」の対象ごとに整理しています。  
3つの対象は、みどりの基本計画が働きかけていく対象でもあります。

第2章 札幌のみどりを取り巻く現状と重視すべき視点

1. 札幌のみどりを取り巻く現状

【社会情勢の変化】	【まちづくりの方向性】	【市民ニーズの多様化】
・人口減少、少子高齢化 ・人口構造の地域的な偏り ・環境問題の深刻化 など	・まちづくり戦略ビジョン ・都市計画マスタープラン ・環境基本計画 など	・緑の審議会 ・市民アンケート ・市民ワークショップ

2. 重視すべき視点(P8)



本計画の前提条件となる現状

札幌のみどりの現状を踏まえ、今後10年間で重視すべき視点を整理し、基本理念・将来像・取組の柱の考え方に生かしていきます。

理念・将来像・目標

第3章 基本理念(P9)

札幌の魅力であるみどりを大切に、新たな価値を生み出し、みんなに愛され、世界が憧れる持続可能なまちを創っていく

実現しようみんなの手で  
人とみどりが輝くさっぽろ

前回審議会の案に青字箇所を追加しました。

第4章 みどりの将来像(P9)

- 1. 将来像
- 2. 将来像図(作成中)

自然・環境	都市・まち	ひと
人と自然が共生したみどりのある持続可能な環境が引き継がれています	まちの価値を高めるみどりがあふれています	みどりを活かし、心豊かにつながる暮らしが息づいています

意義の効果がすべて発揮された将来の札幌の姿を3つの対象ごとに描いています。

第5章 目標

- 1. 目標の設定(作成中)

実現方策

第6章 取組の柱(P10-12)

① 自然・環境	② 都市・まち	③ ひと
多様な自然環境を支えるみどり	魅力的な都市環境をつくるみどり	豊かな暮らしと地域コミュニティをはぐくむみどり

3つのみどりの将来像を実現するための取組の方向性について整理しています。

施策の方向性(イメージ)(P10-12)

<ul style="list-style-type: none"> <li>○持続的な森林保全・活用</li> <li>○地球環境や生物多様性に配慮したみどりの保全</li> <li>○郊外のみどりの保全</li> <li>○資源の有効活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○都心部のみどりの増加と価値の向上</li> <li>○都市景観を彩るみどりづくり</li> <li>○市街地のみどりの推進</li> <li>○地域に愛される公園づくり</li> <li>○災害に強いまちづくりに資する公園づくり</li> <li>○街路樹のメリハリある管理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○札幌の魅力を伝える公園づくり</li> <li>○ニーズに応じた公園機能の見直し</li> <li>○公園の利活用の推進</li> <li>○協働によるみどりづくりの仕組みの充実</li> </ul>
--	--	--

施策(イメージ)(P10-12)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・みどり資源の保全 ●</li> <li>・白旗山都市環境林の利活用 ●●</li> <li>・森づくり体験の実施 ●●</li> <li>・生物多様性に配慮したみどりの保全 ●</li> <li>・観察会や学習会 ●</li> <li>・その他……</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都心のみどりの緑化方針 ●●</li> <li>・公共施設の緑化の推進 ●●</li> <li>・花と緑の都心ネットワーク ●●</li> <li>・主要公園の利活用 ●●</li> <li>・民有地緑化支援 ●●</li> <li>・街路樹等道路緑化事業 ●●</li> <li>・その他……</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園の活性化に関する協議会の設置検討 ●●</li> <li>・狭小公園の利活用検討 ●●</li> <li>・公園造成 ●●</li> <li>・ボランティア活動の推進と支援 ●●</li> <li>・その他……</li> </ul>
---	--	--

重視すべき視点を踏まえ、優先して取り組む施策に丸をつけています。

# 第1章 計画の目的と位置づけ

- 1. 計画策定の目的
- 2. 位置づけ

第79回、80回審議会資料に記載済

## 3. みどりづくりの経緯と評価

これまで取り組んできた札幌市のみどりづくりの経緯と評価について「自然・環境」「都市・まち」「ひと」の面から整理します。

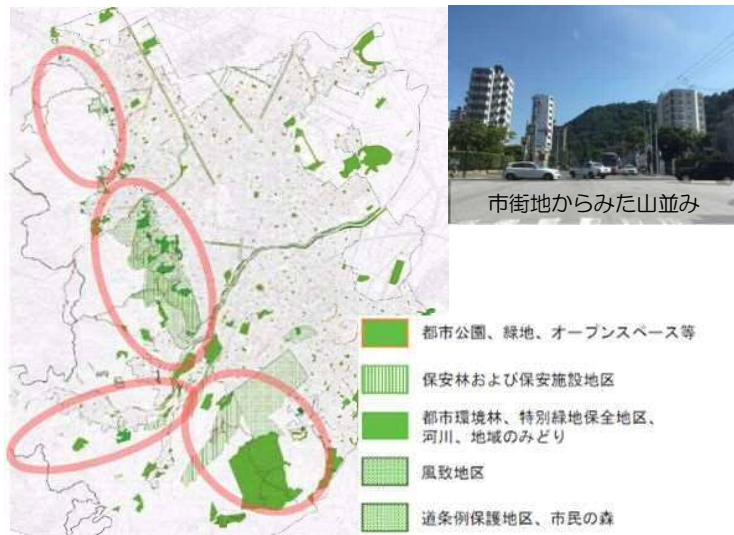
### ①「自然・環境」面からの経緯と評価

#### <札幌らしい自然環境や山並みの保全>

##### ・市街地の拡大を抑制、美しい山並みを保全

市街地と奥山の間にある里山地域を風致地区などに指定し、開発指向の強い地域や自然環境の保全が必要な森林を都市環境林として取得保全してきた。その結果、**市街地の拡大を抑制し、美しい山並みが保全されている。**

公園緑地及び地域制緑地



##### ・「緑の保全と創出に関する条例」にもとづく保全

平成13（2001）年策定の「緑の保全と創出に関する条例」に基づき、市域を5つのエリアに分類し、それぞれ緑化率を定め、開発の際に緑化を義務づける制度。国の法律改正に先駆けて制定し、この制度により山岳、里山、里地について**開発による喪失が抑制され、みどりが保全されている。**

緑保全創出地域の指定図



#### <市街地を取り巻くみどりの骨格とネットワークの形成>

戦後は、町村合併や冬季オリンピック札幌大会を契機に人口が増加し、郊外に住宅地が開発・拡大。このため1982(昭和57)年 策定の、市街地を緑の帯で包み込む「環状グリーンベルト構想」に基づき保全・整備を進めてきた。現在は**特色のある大規模公園を含む環状グリーンベルトがほぼ完成し、河川や道路緑化でつなぐ骨格的なネットワークが形成されている。**

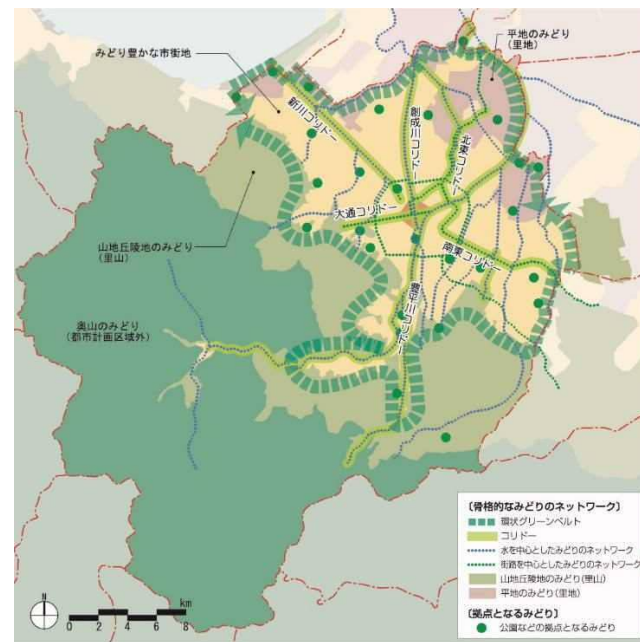


特色豊かで、観光資源ともなるモエシ沼公園



創成川公園 コリドー（みどりの回廊）としてネットワークに寄与

環状グリーンベルトとネットワークの構成



### ②「都市・まち」の面からの経緯と評価

#### <市街地のみどりづくり>

札幌市の都市計画は、碁盤の目を基本とした街路づくりと、住区計画等に基づく計画的な公園の配置を進めるなど、全国でも極めて先進的なものであり、**量的には一定の充足が図られている。**しかし、近年人口増加にある既成市街地では、公園が不足している。

また、都市の拡大に伴う道路整備にあわせて街路樹を整備し、うるおいのある街並みが形成されている。



市街地の街区公園



四季の彩の変化が楽しめる街路樹



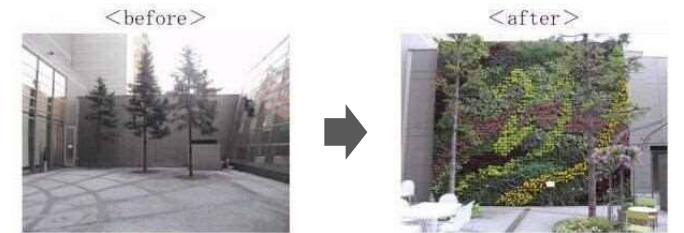
#### <都心のみどりの保全と創出>

明治期に大通公園や中島公園などの大規模な公園を整備し、現在も公園の再整備や創成川公園の新規整備など新たな魅力づくりに取り組むことで、**市民の憩いの場や原風景と**なっている。

近年では、「さっぽろ都心みどりのまちづくり助成制度」の運用をし、民間開発によるみどり豊かなオープンスペースの創出を誘導している。また、都市計画において、「都心における開発誘導方針」により、オープンスペースやみどりの創出に対する誘導の制度が整備され始めている。私有地に対しては、「緑の保全と創出に関する条例」に基づき、開発の際に緑化を義務づけてきたが、1,000㎡以上が対象となるなど、小規模な都心の開発と連動していない。また、**都心部における理想的なみどりの姿などが共有されていない。**



民間開発によるみどり豊かなオープンスペースの創出



「さっぽろ都心みどりのまちづくり助成制度」の事例。

### ③「ひと」の面からの経緯と評価

#### <市民との協働によるみどりづくり>

「第3次札幌市みどりの基本計画」では、「つなぐ」をキーワードに、市民と行政、市民同士が連携する市民との協働を掲げた。公園ボランティア、森林ボランティア、タウンガーデナーの支援を行って進めてきた。その結果、**団体や個人のボランティアの登録者数は増えている。**



森林ボランティア

タウンガーデナー

これまでは、経済成長や人口増加などを背景として、札幌を取り巻くみどりの保全と創出、良好な住環境形成のための量的なみどりの整備を進め、一定の成果をあげてきた。

これからは、守られてきたみどりを大切にしながら、みどりとオープンスペースが持つ様々な役割を最大限活用し、柔軟に使いこなしていくとともに、都心の魅力向上などにより、みどりの質を高める必要がある。

## 4. 札幌の価値を高めるみどりの意義

みどりは、市民が生活していくうえで欠かすことのできない重要な役割を担っています。

良好な都市空間の形成や人と人とのつながり、それらによってもたらされる賑わいなど札幌の価値を高めるみどりの意義を、本計画を検討するうえで普遍的なものと捉え、以下に整理します。

自然・環境

### ①環境の保全

#### ・地球環境の保全

CO2の吸収・固定による地球温暖化防止や森林の涵養機能による水資源の保全などに役立ちます。

#### ・自然環境の保全

生物の生息・生育空間となり、生物多様性の保全に寄与します。

都市・まち

### ②都市環境の形成

#### ・都市景観の形成

都心や住宅地において公園やオープンスペース、街路樹や並木などの樹木によって、五感を通してうるおいや安らぎを得られる景観を形成します。

#### ・札幌らしい景観の形成

手稲山や藻岩山などの山並みや、豊平川などの川のある風景、北海道大学の並木や農場の風景、ハルニレなどの樹木のある街並みなど、札幌らしい景観を形成し、市民一人ひとりの原風景を形づくりします。

#### ・生活環境の形成

気温・湿度の調整、大気の浄化、日陰の提供や心身ともに快適な生活環境を形成します。

### ③防災機能の発揮

みどりは、水源の涵養・土砂崩壊防止などの役割を果たしています。また、災害時には、土砂災害防止、延焼の防止などの役割を果たすとともに、都市公園等は避難の場、救援活動の拠点となります。

平成30年の災害を受けて追加しました。

### ④観光まちづくり・地域経済への寄与

#### ・観光まちづくりへの寄与

大通公園や中島公園など、特色がありまちのシンボルとなっている大きな公園は、まちのブランド化や観光まちづくりの促進に寄与します。

#### ・地域経済の活性化

大通公園をはじめとした主要な公園や自然歩道などが様々なイベントや憩いと賑わい創出の拠点となり、地域経済の活性化に寄与します。

ひと

### ⑤様々な世代が利用できる場の提供

#### ・健康推進の場の提供

スポーツや健康づくりなどの場となり、健康な身体づくりや精神的な豊かさをもたらします。

#### ・自然とのふれあいの場の提供

人と自然とがふれあい憩える場を提供し、自然の恵みによるうるおいや安らぎを享受することができます。

#### ・子育ての場の提供

子どもの遊び場や親子のふれあう場を提供します。

#### ・環境教育の場の提供

自然観察や自然学習など、自然にふれあいながら体験し学べる環境教育の場となります。

#### ・まちづくり活動の場の提供

花植え、清掃、みどりの手入れなど、気軽に参加できる身近なまちづくり活動の場となります。

### ⑥コミュニティの形成

#### ・地域コミュニティの形成

公園やオープンスペースは様々な地域活動やイベントの場となり、地域交流や多世代交流の促進に寄与します。

#### ・まちへの愛着の形成

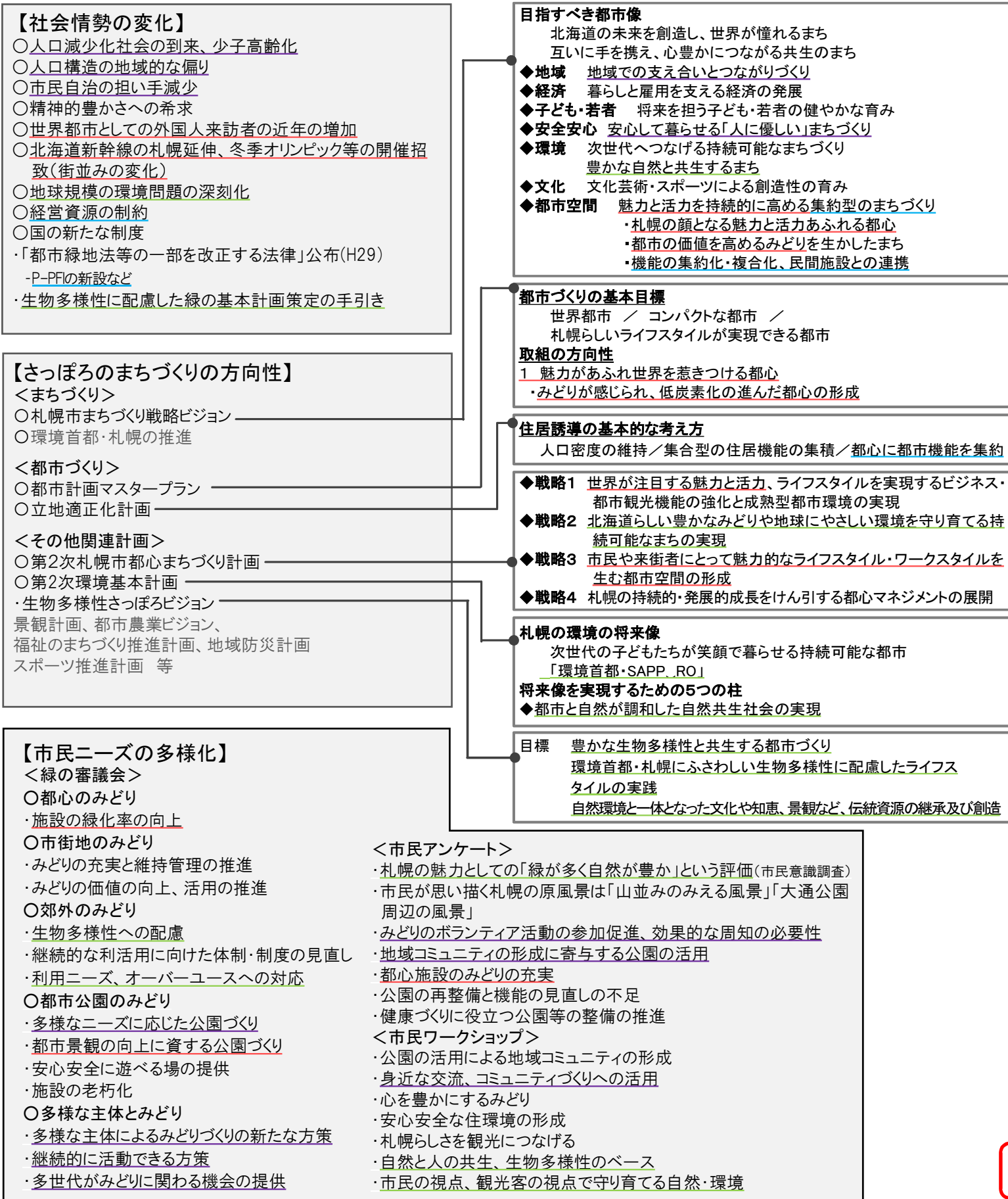
人々を取り巻く山や川などの自然環境や公園、オープンスペースなどがもたらす景観によって、歴史・風土など札幌らしさを感じることで、市民のまちに対する愛着を育みます。

### 3. 重視すべき視点

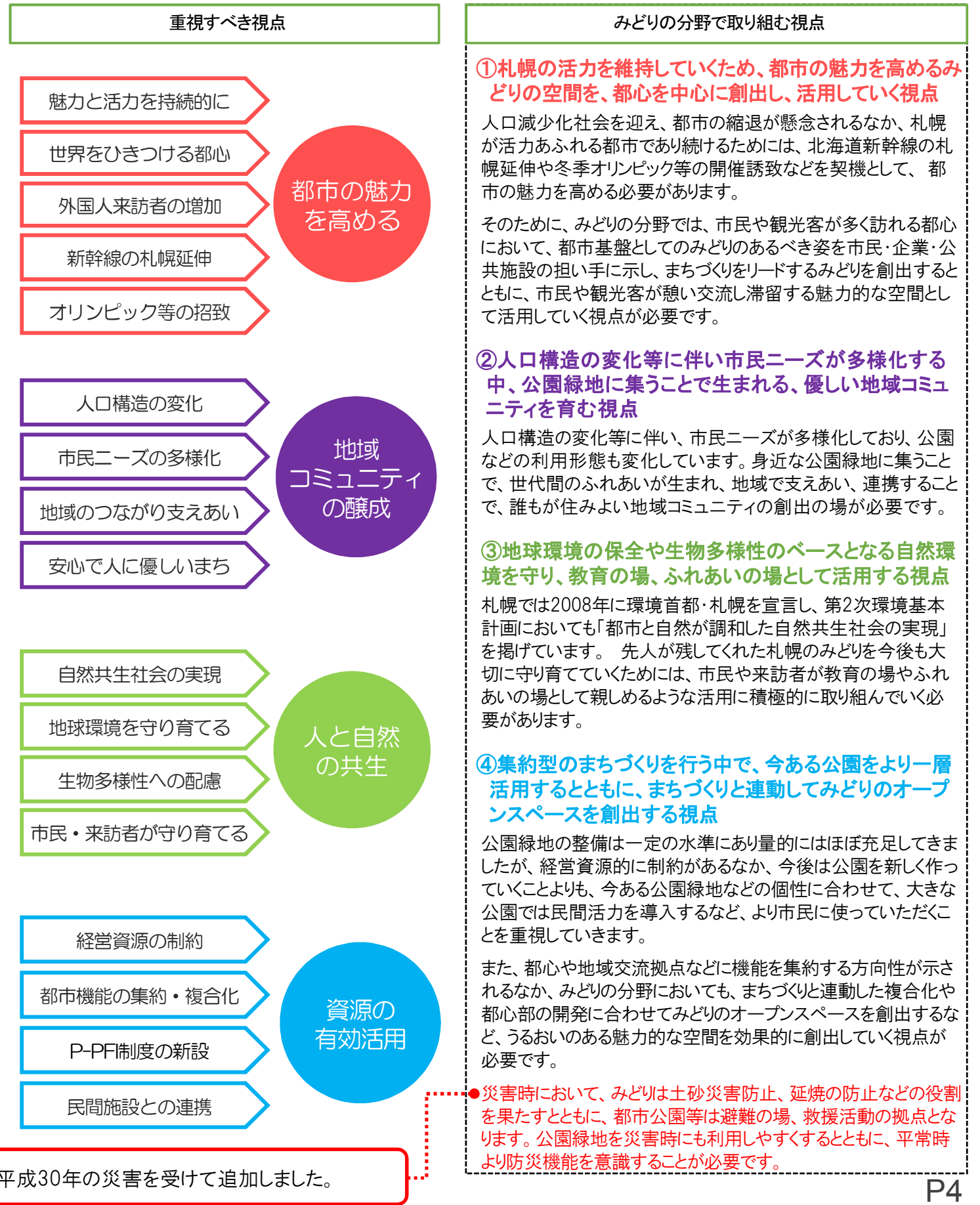
近年、札幌市においても、都市の成熟期を迎え、人口減少や少子高齢化の進行に伴う税収減や社会保障関係費の増大、市民自治の担い手の減少などが懸念されるとともに、市民ニーズの多様化や精神的豊かさへの希求が見られます。また、北海道新幹線の札幌延伸や冬季オリンピック等の開催誘致などを契機に街並みの変化が予想されます。札幌のみどり分野では、都心のみどりの充実や市民ニーズに対応した公園づくり、多様な主体と連携したみどりづくりなどが求められています。

**限られた経営資源の中で効果的に事業を展開していくために、札幌のみどりを取り巻く現状を踏まえて、今後10年間にわたりみどりの分野で取り組む視点を整理し、実効性の高い計画とします。**

#### 札幌のみどりを取り巻く現状



#### 重視すべき視点



## 第3章 基本理念

札幌のみどりにおいて大切な理念を以下のように掲げます。

これまで守り育ててきたみどりを継続して大切に引き継ぎ、さらに、その価値を高めるよう積極的に活用するといった新たな視点を加え、より魅力的な札幌を創造し、未来につなげていくことを表現しています。

札幌の魅力であるみどりを大切にし、新たな価値を生み出し、  
みんなに愛され世界が憧れる持続可能なまちを創っていく

実現しようみんなの手で  
人とみどりが輝くさっぽろ

「新たな価値を生み出すことよりも、みどりを大切にすることの方が先ではないか」という意見を反映し、修正しました。

「世界が憧れるは基本理念に盛り込んだほうがよい」という意見を反映し、修正しました

## 第4章 みどりの将来像

### 1. 将来像

札幌の価値を高めるみどりの意義、札幌のみどりを取り巻く現状、基本理念(案)をふまえ、本計画で目指す「札幌のみどりの将来像(案)」を以下のように設定します。

**「自然・環境」「都市・まち」「ひと」の3つの視点は密接に関係しており、各将来像の実現に向けて取り組むことで、相乗的効果が高まります。**

3つの将来像の実現に向けた取組により、様々なみどりがあふれるまちで、多様な生き物と共生し、四季の変化を楽しむ人々の暮らしが札幌らしい魅力を形づくり、札幌での生活を市民が誇りに思い、来訪者にとっても魅力あるライフスタイルが国内外に発信されることで、**世界が憧れるまちへと成長**していきます。

#### 自然・環境

#### 人と自然が共生したみどりのある持続可能な環境が引き継がれています

- ◆みどりをもつ二酸化炭素の吸収源や水源涵養などの役割によって、地球環境の保全につながっています。
- ◆多様な生物の生育空間となるみどりのネットワークが形成され、人と自然が共生したみどりのある環境が後世に引き継がれています。

平成30年の災害を受けて追加しました。

#### 都市・まち

#### まちの価値を高めるみどりがあふれています

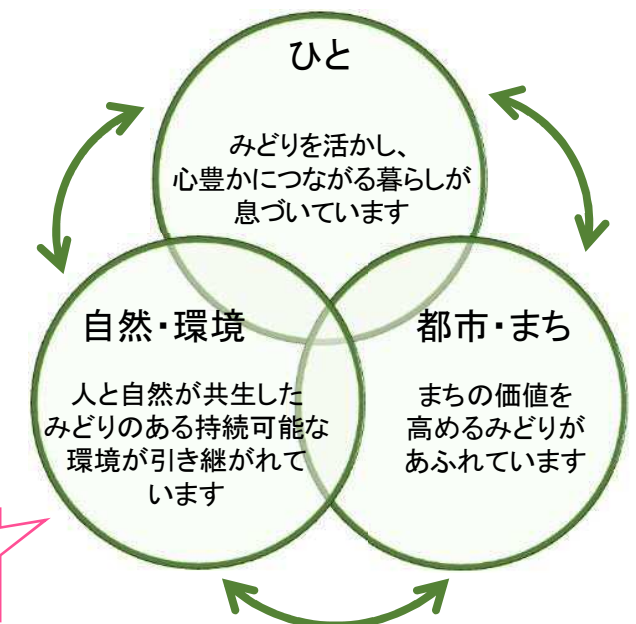
- ◆山並みや河川、公園など様々なみどりによって、ゆとりと安らぎ、季節の変化を感じられる札幌らしい景観が、市民一人ひとりの原風景を形成しています。
- ◆みどりの持つ災害の緩和・防止、避難の場や救援活動の拠点などの防災機能が発揮され、都市の安全性が確保されています。
- ◆身近なみどりの大気の浄化や日陰の提供などによって、快適な都市環境が形成されています。
- ◆札幌を象徴する公園や自然などのみどりが、憩いやにぎわいの交流拠点として積極的に活用され、活力ある魅力的なまちとなっています。

市民ワークショップでいただいた意見を取り入れています。  
(緑文字下線部分のキーワード)

#### ひと

#### みどりを活かし、心豊かにつながる暮らしが息づいています

- ◆みどり豊かなオープンスペースは、多世代の市民が憩い集い、遊びや学び、交流の場として活用され、地域コミュニティが育まれています。
- ◆札幌らしいみどりが、人々の日々の身近な暮らしに溶け込み、まちへの愛着を育み、心身ともに健康で魅力的な暮らしが息づいています。



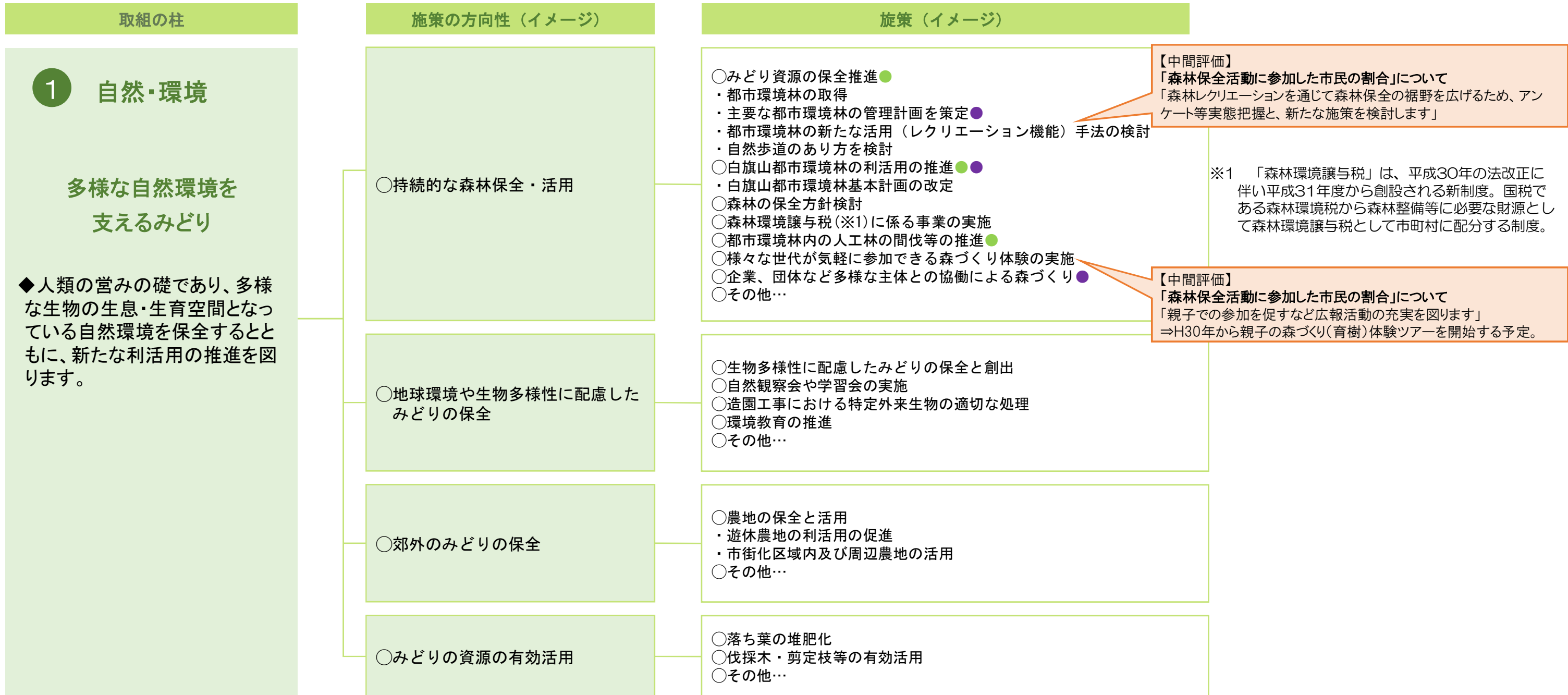
3つの将来像の関係イメージ

## 第5章 目標

### 1. 目標の設定

第3回基本計画部会で検討予定

単独で成り立つものではなく、3つの将来像が密接に関係することで実現するもの(市民ワークショップ考察より)



※1 「森林環境譲与税」は、平成30年の法改正に伴い平成31年度から創設される新制度。国税である森林環境税から森林整備等に必要な財源として森林環境譲与税として市町村に配分する制度。

